

広島市植物公園 見どころ案内

オミナエシ (オミナエシ科)

黄色い花が咲き始めました。秋の七草の一つ。

サバクノバラ

(キョウチクトウ科)
鮮やかな紅色の花が見頃です。

世界の食虫植物展

(展示温室・8/14まで)
ハエトリソウ
など食虫植物
約100点を
展示して
います。

トーチジンジャー

(ショウガ科)
東インド～インドネシア原産の多年生植物。薄い橙桃色の花を次々に咲かせています。

イランイランノキ

(バンレイシ科)
細長い花弁は開きながら伸びます。咲き始めは緑色で、後に黄色に変わります。

ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットができました。白色を基調にカラジウム、ニチニチソウ、ユーフォルビアなどを使い夏バージョンに仕上げました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

ヒゴタイ (キク科)

紫色の球状の花が咲いています。日当たりの良い山野に生える多年草ですが、明るい草地が減少し、絶滅危惧種となっています。

レンゲショウマ

(キンポウゲ科)
紫色を帯びた白い花が咲き始めました。真ん丸い蕾と一緒にぶら下がって咲く様子は、涼しげなモビールのようなです。

タイタンビカス

(アオイ科)
アメリカフヨウとモミジアオイの交配により作られた園芸品種です。子どもの顔ほどもある大きな花です。

キバナコスモスの迷路

(キク科)
メキシコ原産の一年草。オレンジ色、黄色の花が2000本咲いています。品種はブライトライト。

セイヨウニンジンボク

(シソ科(以前はクマツヅラ科))
ヨーロッパ南部地中海地方原産です。花は薄紫と白色があり、果実を香料として利用します。

ハス (ハス科)

インド原産多年生水生植物。花色は白や桃があります。環境の変化により個体数が減少しています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)
品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

